

セネガル

Republique du Sénégal | セネガル共和国

実施時期 || 2023年8月～9月 費用 || 約39万円 上限人数 || 15名

日本とも友好関係が長いセネガルは、植民地時代から仏語圏西アフリカの中心として発展しており、農業、漁業が社会を支えています。植民地時代には、このプログラムで訪問を予定しているサン・ルイに仏領西アフリカ(AOF)の首都がおかれていました。セネガルの首都ダカールはアフリカ大陸西端に位置し、西アフリカの政治的な中心として位置づけられています。近年は都市化、国際化が進み、観光産業やサービス業、IT業界も大きく成長している国です。文化面でも大変個性的で、イスラームが影響力を持っています。力強い宗教の力は、この国の安定した政治体制を下支えしています。さらに、セネガルは美食の国としても知られ、セネガル料理は西アフリカ全体で食されています。



学生・教員の声

日本の大学では珍しい西アフリカのプログラム。セネガルの国民はとても穏やかで親切です。フランスの植民地だった歴史や昨今の中国からの援助、イスラーム教の影響を強く受ける生活様式が入り混じった特殊な環境で異文化交流を行いましょ。ぜひセネガルから世界を覗いてみてください。

プログラム概要

期間 | 2023年8月～9月 / 11日間(移動日を含む)

近年は都市化、国際化が進み、観光産業やサービス業、IT業界も大きな成長を見せています。セネガルでは複数の民族、宗教、伝統的な信仰等が平和的に共存しており、伝統と近代化を両立しつつ新たな文化を作り上げています。本フィールドワークでは、セネガルの様々な姿を概観し、セネガルの全体像をつかむことを目的とします。また、現地学生やセネガル人との交流を通し、変容著しい現代のアフリカのダイナミズムを体感することを目指します。

【日程表(例)】

1日目	関空発	7日目	トゥーバ視察@トゥーバ
2日目	ダカール着	8日目	現地NGO職員と農村視察@ンデム
3日目	オリエンテーション、講義(ウオロフ語講座、セネガルの紹介)	9日目	ダカール視察、コレ島視察@ダカール
4日目	魚市場見学@ンブル、JICAプロジェクトオフィス訪問@チエス	10日目	ラップアップ/ダカール発
5日目	ガストンベルジェ大学訪問、フィールドワーク@サン・ルイ	11日目	関空着
6日目	サン・ルイ市内のフィールドワーク@サン・ルイ		



現地受入機関 | シェーク・アンタ・ジョップ大学 / ガストン・ベルジェ大学 / JICA など

シェーク・アンタ・ジョップ大学 | シェーク・アンタ・ジョップ大学(国立ダカール大学)は、西アフリカ最大級の国公立の総合大学であり、原型は1918年のフランス植民地下でフランス国立アフリカ医科大学として作られました。その後セネガルの独立を経てセネガル国立化。現在の学生数は6学部と7つの研究科、その他7つの研究センターなどの所属学生を合わせて6万人以上に上ります。2021年度から京都精華大学の提携校になりました。

ガストン・ベルジェ大学 | 1990年に設立されたガストン・ベルジェ大学は、セネガル北部サン・ルイ市にある国立大学で、ダカール大学に次いでセネガルで2番目に大きな国立大学です。およそ1万2000人の学生が在籍しています。京都精華大学とは2021年に提携し、特に「文明、宗教、芸術、コミュニケーション総合研究所・研究学科(CRAC)」と交流があります。

JICA | セネガルで①経済インフラ整備②産業人材育成③農村経済向上支援④漁業振興などの領域で支援活動を展開しています。またセネガル事務所は周辺6か国を管轄する西アフリカの支援活動の中心的な役割を担っています。

現地受入機関 シェーク・アンタ・ジョップ大学 Université Cheikh Anta Diop
ガストン・ベルジェ大学 Université Gaston Berge
JICA Japan International Cooperation Agency など
宿泊情報 ンブル市(空港近く)、ダカール市、サン・ルイ市のホテルに宿泊
ビザ 不要(日本国籍の場合)
予防接種 黄熱病

【FW費用概算】2022年度実績

出発前		滞在中	
渡航費	約30万円	食費	約2万円
海外旅行保険料	約1.5万円	宿泊費	約5万円
概算費用			約39万円

セネガル

Republique du Sénégal | セネガル共和国

実施時期 || 2024年2月～5月 費用 || 約68万円 上限人数 || 8名

応募条件 || 志望理由書、フランス語の学習経験(第2外国語に限らない)があることが望ましい。

日本とも友好関係が長いセネガルは、植民地時代から仏語圏西アフリカの中心として発展しており、農業、漁業や伝統産業が社会を支えています。植民地時代には仏領西アフリカの首都が定められ、このプログラムで訪問を予定しているサン・ルイは仏領西アフリカ(AOF)の首都がおかれていました。セネガルの首都ダカールはアフリカ大陸西端に位置し、西アフリカの政治的な中心として位置づけられています。近年は都市化、国際化が進み、観光産業やサービス業、IT業界も大きく成長している国です。文化面でも大変個性的で、政治経済の面でイスラームが大きな影響力を持っています。力強い宗教の力は、この国の安定した政治体制を支えています。さらに、セネガルは美食の国としても知られ、セネガル料理は西アフリカ全体で食されています。

プログラム概要

期間 || 2024年2月下旬～5月下旬

語学研修

滞在中は、受け入れ機関であるシェーク・アンタ・ジョップ大学のIFEE(IFEE=Institut de Français pour les Etudiants Etrangères 外国人学生のためのフランス語センター)にてセネガルの公用語であるフランス語を学びます。さらに希望に応じて日常もつともよく使用するウォロフ語を学習します。調査テーマに応じてその他の民族語(セレール語、ブル語など)の学習も可能です。

[時間割]

	月	火	水	木	金
午前	語学研修				フィールドワーク
午後	フィールドワーク				



学生・教員の声

日本の大学では珍しい西アフリカのプログラム。セネガルの国民はとても穏やかで親切です。フランスの植民地だった歴史や昨今の中国からの援助、イスラーム教の影響を強く受ける生活様式が入り混じった特殊な環境で異文化交流を行きましょう。ぜひセネガルから世界を覗いてみてください。



フィールドワーク

現地の担当教員とセネガル人の学生チューターの指導を受けながら、個別のテーマについて調査・研究します(テーマ例は右記参照)。この「調査」は、セネガルの一般家庭にホームステイしながら進められます。基本は滞在地のダカール市近郊にて調査を行います。研究テーマによってはサン・ルイ市など協力機関がある地方での実施が可能です。毎週決められた曜日に簡単な報告を日本の担当教員に送り、指導をうけて調査をブラッシュアップさせます。滞在の最後には、ダカール大学で簡単な報告会を行います。

〈研修内容〉

JICA、現地NGO、現地のスタートアップ企業などにおいて短期研修を行い、報告レポートを作成します。

【フィールド調査テーマ例】

- セネガルのストリートアート [調査地:ダカール]
- サヘル地域における農業の可能性と地域経済 [調査地:サン・ルイ、ダカール等]
- 創造されるサバルダグスの文化的価値と観光 [調査地:ダカール、ゴレ島]
- セネガルで活躍する日本のNGOの研究 [調査地:ダカール 他]
- アフリカにおける観光開発と環境 [調査地:ンブル、ラックローズ]
- イスラーム伝統教育と近代教育の比較研究 [調査地:ティワワンス・コキ(イスラーム伝統教育の拠点)]
- セネガルにおける漁業と地域経済 [調査地:ダカール、サン・ルイ、ジョアル]



現地受入機関 || シェーク・アンタ・ジョップ大学 / 外国人学生のためのフランス語センター(IFEE) / ガストン・ベルジェ大学(サン・ルイ市)

シェーク・アンタ・ジョップ大学 | シェーク・アンタ・ジョップ大学(国立ダカール大学)は、西アフリカ最大級の国公立の総合大学であり、原型は1918年のフランス植民地下にフランス国立アフリカ医科大学として作られました。その後セネガルの独立を経て国立化し、現在の学生数は6学部と7研究科、その他7つの研究センターなどの所属学生を合わせて6万人以上に上ります。2021年度から京都精華大学の提携校になりました。

外国人学生のためのフランス語センター(IFEE) | 受け入れセンターとなる「外国人学生のためのフランス語センター(IFEE)」は、主に留学生のフランス語教育を行っています。

ガストン・ベルジェ大学(サン・ルイ市) | フィールド調査協力機関

現地受入機関 シェーク・アンタ・ジョップ大学 Université Cheikh Anta Diop
外国人学生のためのフランス語センター(IFEE) Institut de Français pour les Etudiants Etrangères
ガストン・ベルジェ大学(サン・ルイ市) Gaston Berger University (Sant-Louis)
所在地 Avenue Cheikh Anta DIOP, Dakar SENEGAL
URL https://www.ucad.sn/
宿泊情報 現地チューターの家にホームステイ
ビザ 不要(日本国籍の場合、現地で外国人登録証を取得必要あり)
予防接種 黄熱病

[FW費用概算]

出発前	滞在中	
渡航費	約25万円	食費 約12万円
海外旅行保険料	約10万円	宿泊費 約20万円
その他	—	交通費 —
概算費用	約68万円	